

資料編

- I 発達障害者本人に対するアンケート用紙
- II 発達障害者の親に対するアンケート用紙
- III 単独集計表
- IV クロス集計表

よ か かん ほんにんようしつもんようし
「読み書きに関するアンケート」(本人用質問用紙)

日常生活または社会生活において、文字や文書がわかりにくいと思うことはありませんか？

このアンケートは皆さんが文字や文書のどの部分がわかりにくいかを調べるためのアンケートです。

文書を読みやすくしたり、交通機関の表示をわかりやすく改善したりするために活用されます。

名前は書く必要がないので、安心して回答してください。ご協力よろしくお願ひします。

質問1. アンケート用紙に記入している人 (いずれかに○)

- (a) 本人 (b) 家族が代筆している (c) 家族以外の支援者が代筆している

質問2. 年齢 (いずれかに○)

- (a) 18才～19才 (b) 20才代 (c) 30才代 (d) 40才代 (e) 50才代 (f) 60才以上

質問3. 性別 (あなた自身が思っている性別) (a) 男 (b) 女

質問4. 住んでいる都道府県 (いずれかに○)

- (1) 北海道 (2) 青森県 (3) 岩手県 (4) 秋田県 (5) 宮城県 (6) 山形県 (7) 福島県
 (8) 茨城県 (9) 栃木県 (10) 群馬県 (11) 千葉県 (12) 埼玉県 (13) 東京都
 (14) 神奈川県 (15) 新潟県 (16) 長野県 (17) 山梨県 (18) 静岡県 (19) 愛知県
 (20) 岐阜県 (21) 富山県 (22) 石川県 (23) 福井県 (24) 三重県 (25) 和歌山県
 (26) 奈良県 (27) 滋賀県 (28) 京都府 (29) 大阪府 (30) 兵庫県 (31) 岡山県
 (32) 鳥取県 (33) 広島県 (34) 島根県 (35) 山口県 (36) 徳島県 (37) 香川県
 (38) 愛媛県 (39) 高知県 (40) 福岡県 (41) 佐賀県 (42) 長崎県 (43) 熊本県
 (44) 大分県 (45) 宮崎県 (46) 鹿児島県 (47) 沖縄県 (48) 日本以外

質問5. 現在、何をしていますか？ (いずれかに○)

- (a) 働いている (b) 学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している
 (c) 働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している
 (d) 就労継続支援事業所、作業所などを利用している (e) 求職活動中 (f) 無職

質問6. 下記の中で、あなたが得意なことだと思ふ記号すべてに○をつけてください。

- (a) 文章を読むこと (b) 文章を書くこと (c) 人と話すこと (d) 説明すること
(e) 人の話を聞くこと (f) 話す相手の言いたい内容が推測できること (g) 計算すること
(h) 金銭管理 (i) 相手にわかりやすく話すこと (j) 大勢で物事を進めていくこと
(k) ひとりで物事に取り組むこと (l) 新しい方法やアイデアを思いつくこと
(m) 細かい手作業 (n) 運動すること (o) 手早く作業を進めること
(p) 最後まで作業を完成させること (q) リズム感が良いこと
(r) その他 (s) 特になし

質問7. 下記の中で、あなたが一番苦手なことは何ですか？ 一つだけ○をつけてください。

- (a) 字を読むこと (b) 文書を読むこと (c) 字を手書きすること (d) 人と話すこと
(e) 文章を手書きすること (f) 説明すること (g) 計算すること (h) 金銭管理
(i) 読み書きに時間がかかること (j) 人の話を聞くこと
(k) 相手にわかりやすく話すこと (l) 話す相手の言いたい内容を推測すること
(m) 落ち着いて物事に取り組むこと (n) 細かい手作業
(o) 手早く作業を進めること (p) 整理整頓 (q) 公共の場で静かにすること
(r) 道具や用具を使うこと (s) その他 (t) 特になし

質問8. 書類を読んだり書いたりするときに、工夫していることはありますか？ あてはまる

記号すべてに○をつけてください。

- (a) IT機器の読み上げソフトを使って確認している (b) パソコンやスマホで漢字を確認する
(c) IT機器の音声入力ソフトを利用している (d) 提出書類は鉛筆で下書きしている
(e) 紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している
(f) 提出用紙は複数枚コピーして書き直しできるようにしている
(g) 読みやすいフォントに変換してから読んでいる
(h) その他 (i) 特になし

質問9. 街中の看板や交通機関の表示で、わかりにくいことがありますか？ あてはまる記号

すべてに○をつけてください。

- (a) バスや電車の行き先などが読みにくい (b) 案内図などの字や説明がわかりにくい
(c) バスや電車内の電光掲示などが読みにくい (d) 背景や文字の色などが目にチカチカする
(e) 流れるテロップなどは読みにくい (f) アルファベットの表記などがわかりにくい
(g) 絵のサイン（表示）も意味がわからないものがある (h) その他

質問10. 商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいことがありますか？ あては

まる記号すべてに○をつけてください。

- (a) 字が小さい (b) 文字ばかりで読みにくい (c) 説明文がわかりにくい
(d) 図がわかりにくい (e) どこが重要かわかりにくい (f) 行間が狭くて読みにくい
(g) その他

質問11. あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたものはありますか？ あて

はまる記号すべてに○をつけてください。[(f)と(g)は、子どもがいる方だけ回答してください]

- (a) 健康保険や年金など役所からの書類 (b) 銀行や郵便局など金融機関からの書類
(c) 証券会社や保険会社などからの金融商品についての書類
(d) 契約についての書類 (e) ダイレクトメールなどの勧誘郵便物
(f) 子どもの乳幼児健診の書類 (g) 子どもの保育園や幼稚園・小中学校からの書類
(h) その他

質問12. 仕事や職場のことについて、下記の中で、わかりにくかったり、困ったりしたこと

がありましたか？ あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- (a) 職場に提出する年末調整の書類 (b) 報告書など職場で必要な書類
(c) 健康診断の問診票 (d) 忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成
(e) 電話や伝言が正しくメモできない (f) 免許や資格取得のための学習や受験
(g) 就職試験の学習や受験 (h) 履歴書の記入 (i) その他

質問 | 3. 質問9から | | で「わかりにくいことがある」と答えた人にお聞きします。どうしたらわかりやすくなると思いますか？ あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- (a) 質問に丁寧に答えてくれる人がほしい (b) 調べやすいホームページがほしい
(c) 重要な箇所がわかるような書類にしてほしい (d) わかりやすい書類の記入例がほしい
(e) 文字を大きくしてほしい (f) 記入する欄を大きくしてほしい
(g) 背景と文字の色の使い方を考えてほしい (h) 相談に乗ってくれる人がほしい
(i) QRコードやバーコードの利用を考えて欲しい (j) 音や映像で伝えるアプリが欲しい
(k) 提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい
(l) 手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい
(m) タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい
(n) 作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい (o) その他

質問 | 4. 医療機関の書類(問診票・入院案内書類・申込書・同意書など)の読み書きについて、下記にあてはまるものがあれば、すべてに○をつけてください。

- (a) 読みにくい (b) 読んでも意味がわかりにくい (c) 書きにくい
(d) 口頭での説明はわかる (e) 口頭での回答ができる (f) その他

質問 | 5. 市役所や区役所の書類の読み書きについて、下記にあてはまるものがあれば、すべてに○をつけてください。

- (a) 読みにくい (b) 読んでも意味がわかりにくい (c) 書きにくい
(d) 口頭での説明はわかる (e) 口頭での回答ができる (f) その他

質問 | 6. 選挙の時に困ったことがありますか？ あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- (a) 選挙の案内通知が読みにくい (b) 選挙公報などが読みにくい
(c) 投票用紙に字が書きにくい (d) 候補者氏名の漢字が書きにくい
(e) 選挙に行ったことがない (f) その他

ご協力ありがとうございました。

「発達障害がある人の読み書きに関するアンケート」(親用質問用紙)

このアンケートは、厚生労働省平成30年度障害者総合福祉推進事業の『発達障害者の顕在化されにくい「読み書き困難」についての実態調査』において、18才以上の発達障害がある人の文字や文書などの読み書きについての状況(文書の内容理解も含めて)をお伺いするものです。

学齢期にあっては、「教科書の音読に時間が掛かる」「漢字の書き取りができない」「板書が写せない」「文章題が苦手」などの困難があっても、大人になり社会生活を送るうえでは「読み書き困難」は大きな課題として挙げられていない現状があります。

それは、「読み書き困難」は本人の努力や能力に原因があるとされやすいため、読み書きが苦手であることを周囲に知られたくない気持ちが強かったり、「注意集中困難」や「感覚過敏」、「低緊張」、「不器用」「不随意運動」といったより重い障害の症状に「読み書き困難」が隠れてしまいがちなことが考えられます。そこで、発達障害のある人が、どのくらいの割合で、どのような文字や文書の読み書きの苦手さを持っているのか、本人と親へのアンケートを実施することにしました。

回答はデータとして解析いたしますので、回答者が特定されることはありません。本人のみ、親のみの回答でも構いませんので、ご協力をお願いいたします。

NPO法人全国LD親の会 理事長 井上 育世

【記入方法】 該当するものの記号に○をつけ、()内にはご記入をお願いします。

質問は、[1]から[4]まであります。

[1] あなたご自身についてお答えください。

- ① 発達障害のある本人との関係 (いずれかに○) (a) 父 (b) 母 (c) その他
- ② 現在、お住まいの都道府県 (いずれかに○)
- (1)北海道 (2)青森県 (3)岩手県 (4)秋田県 (5)宮城県 (6)山形県 (7)福島県 (8)茨城県
 (9)栃木県 (10)群馬県 (11)千葉県 (12)埼玉県 (13)東京都 (14)神奈川県 (15)新潟県
 (16)長野県 (17)山梨県 (18)静岡県 (19)愛知県 (20)岐阜県 (21)富山県 (22)石川県
 (23)福井県 (24)三重県 (25)和歌山県 (26)奈良県 (27)滋賀県 (28)京都府 (29)大阪府
 (30)兵庫県 (31)岡山県 (32)鳥取県 (33)広島県 (34)島根県 (35)山口県 (36)徳島県
 (37)香川県 (38)愛媛県 (39)高知県 (40)福岡県 (41)佐賀県 (42)長崎県 (43)熊本県
 (44)大分県 (45)宮崎県 (46)鹿児島県 (47)沖縄県 (48)日本以外

[2] 発達障害のあるお子さんの状況について伺います。

- ① 年代 (いずれかに○) (a) 18・19才 (b) 20才代 (c) 30才代 (d) 40才代 (e) 50才代
- ② 現在、どのような診断・判定・教育的判断がありますか。あてはまるもの全て○をつけてください
- (a) LD (b) AD/HD (c) ディスレクシア (d) 協調性運動障害 (e) 自閉症スペクトラム(広汎性発達障害、自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、特定不能の広汎性発達障害) (f) チック・トゥレット症
 (g) 知的障害 (h) その他 (i) 診断・判定・教育的判断なし

- ③ ②で診断・判定・教育的判断があると答えた方【(a)～(h)に○をつけた方】に伺います。お子さんが一番初めに診断された時期はいつですか？（いずれかに○）
- (a) 3才以下 (b) 3才から小学校就学前 (c) 小学1年～3年 (d) 小学4年～6年
(e) 中学生 (f) 高校生 (g) 高校卒業後
- ④ 読み書きについて療育や指導を受けたことがありますか？ どこで受けましたか？
- (a) ある 【(b) 学校 (c) 児童発達支援センター (d) 療育センター (e) 医療機関併設の療育機関
(f) 大学等研究機関 (g) 児童発達支援事業所 (h) 放課後等デイサービス事業所
(i) 学習塾 (j) その他】
(k) ない
- ⑤ ④で【(b)学校】と答えた方に伺います。どこで、読み書きの指導を受けましたか？
- (a) 通常の学級 (b) 通級 (c) 支援学級 (d) 支援学校
- ⑥ 読み書きの困難さについて学校や職場の理解がなく、二次障害を起こしたことがありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) ある 【(b) 不登校 (c) 精神的不安定 (d) うつ状態 (e) 暴力・暴言 (f) 無気力
(g) 引きこもり状態 (h) 働く気がない (i) その他】
(j) ない
- ⑦ 障害者手帳、判定書を所持していますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) 療育手帳（愛の手帳） (b) 身体障害者手帳 (c) 精神障害者保健福祉手帳
(d) 障害者職業センターの判定（知的障害） (e) 所持していない
- ⑧ 障害基礎年金の支給について、お子さんが20歳以上の方にお尋ねします。該当するものに○をしてください。
- (a) 支給を受けている (b) 支給を受けていたが、支給を停止された (c) 支給を申請したが、不可だった
(d) 申請中 (e) 申請していない
- ⑨ お子さんの現在の状況について、該当するものに○をしてください。
- (a) 学校在学中（大学・短大・高等専門学校・専攻科・大学院・専門学校・各種学校など）
(b) 一般就労（正社員、契約社員を問わず、20時間/週以上勤務）
(c) 障害者雇用（正社員、契約社員を問わず、20時間/週以上勤務）
(d) パート・アルバイト（20時間/週未満の勤務） (e) 就労移行支援事業所 (f) A型就労継続支援事業所
(g) B型就労継続支援事業所、授産所、作業所（旧体系）に通所
(h) 職業訓練（訓練校・委託訓練・職場実習等） (i) 無職

[3] お子さんの困難さについて伺います。

① 幼少期に下記のような困難さがありましたか？ 該当するものに○をしてください。(複数可)

- (a) 言葉が遅かった (b) 指さしをするのが遅かった (c) あちこち走り回っていた
(d) 遊び友達を叩いたり、噛みついたりした (e) 食卓のコップ等を良く倒した
(f) 友だちとごっこ遊びをしなかった (g) しりとりや言葉遊びが苦手だった
(h) 絵本などに興味を示さなかった (i) 文字に興味を示さなかった (j) お絵描きに興味を示さなかった
(k) 公園の遊具で遊ぶのが嫌いだった (l) 自分で服を着れるようになるのが遅かった
(m) 自分の右・左がわかりにくかった (n) 約束やルールを守って遊べなかった (o) 集団行動が苦手だった
(p) 偏食が強かった (q) こだわりが強かった (r) 急に大声を出したりした (s) 特に無かった

② 学齢期に下記のような困難さがありましたか？ 該当するものに○をしてください。(複数可)

- (a) ノートを取らない (b) 書字に時間がかかる (c) 板書を写さない (d) 書くことを嫌がる
(e) 夏休みの日記が書けない (f) 作文が嫌い (g) 漢字学習を嫌がる (h) 宿題をしようとし
(i) 読みに時間がかかる (j) 聞き間違いが多かった (k) 読み間違いが多かった
(l) スムースな音読が難しい (m) 習った漢字が読めない (n) 文字が汚い
(o) 周囲が気になって授業に集中できない (p) 落ち着きがない・多動・多弁 (q) 勝手に声が出てしまう
(r) 身体が勝手に動いてしまい授業に集中できない (s) 片付けができない (t) 字がマス目に収まらない
(u) 筆圧が強すぎる (v) 筆圧が弱い (w) 体の動きがぎこちない (x) 姿勢を保持できない
(y) 不器用 (z) 算数の文章題が苦手 (A) 距離感がつかみにくく人や物によくぶつかる
(B) 持ち物をよく失くす (D) 筆箱など机の上に置いてある物をよく落とす (E) 動作が乱暴
(F) 用具や道具をすぐに壊す (G) 特に無かった

③ 文字や文書について、現在の生活で下記のような困難さがありますか？ 該当するものに○をしてください。

(複数可)

- (a) 郵便物の内容の細かい把握ができない (b) 文字や文書の手書きが難しい
(c) 本人だけでは手帳の更新など役所等への書類が作成できない (d) 電車やバスの行き先などが読めない
(e) 街中の看板や案内掲示がわからない (f) 長い文書だと重要な箇所を見落としてしまう
(g) 長い文書だと途中から読まなくなってしまう (h) 読書などが楽しめない
(i) 書くことが苦手なので考えをまとめることも苦手 (j) 契約書の内容などが理解できない
(k) 設問などの文章の意図の把握が困難 (l) その他()

④ 働くうえで、読み書きについて下記のような困難さがありますか？ 該当するものに○をしてください。(複数可)

- (a) 読み書きが苦手なので、職種が限られる (b) 仕事に必要なメモがとれない
(c) 文書の内容把握のためには説明が必要 (d) 文書の読み書きに時間が掛かる
(e) 報告書などの書類が書けない (f) その他()

[4] お子さんの困難な部分のサポート方法について伺います。

- ① 文書の内容の把握について（読み書きや理解に関して）、ご家族あるいは（学校や職場で周囲の人）がしているサポートはありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) 文書の代読 (b) 文書の代筆 (c) 文書の内容の説明・確認 (d) 提出期限など文書の管理
(e) IT 機器などの使い方の説明 (f) 全くサポートしていない
- ② 文章の読み書きの苦手さを補う手段として本人が身に付けている（日常的に利用している）方法などがありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) パソコン・スマホなどの利用 (b) 読み上げソフトの利用 (c) 音声入力ソフトの利用
(d) 紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用 (e) 内容の説明や代読・代筆など周囲に支援を求める
(f) 特にない (g) その他（)
- ③ 将来的に本人が利用できるようになって欲しいサポートがありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) パソコンでの文字入力 (b) 読み上げソフトの利用 (c) 音声入力ソフトの利用
(d) 紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用 (e) 安心して気軽に相談できる窓口
(f) 内容の説明や代読・代筆などをしてくれる日常生活上の支援者 (g) 支援機器やサービスの情報提供
(h) 動画や音声で伝えてもらえるソフトの導入 (i) 特にない
- ④ ご家族のサポートが無くなった場合、心配なことは何ですか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) 一人では契約（アパートやスマホなど）ができない (b) 一人では医療機関で問診票などが書けない
(c) 家族が入院した時など医療機関や保険会社に提出する書類作成を任せられない
(d) 手帳の更新など行政関係書類が一人では処理できない (e) 一人では金融機関の利用ができない
(f) 商品や製品の使い方など説明書を読まないの、自分勝手に操作する
(g) 本人が内容を理解していない契約による損失や多重債務を負う (h) 特にない
(i) その他（)
- ⑤ 本人が相談できる人（親や家族以外）または、機関がありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) ある 【(b) 友人 (c) 職場の同僚 (d) 職場の上司 (e) 支援機関の職員 (f) 学校の先生
(g) その他】
(h) ない

ご協力ありがとうございました。

ご回答いただきました調査用紙は、同封の封筒に入れて、2018年11月20日までに返送してください。
本人の調査用紙と一緒に返送してください。もちろん、親のみ、本人のみの回答でも結構です。

Ⅲ 基礎統計表（単独集計） 発達障害者本人からの回答

1

回答数 911

質問1 アンケート用紙に記入している人

アンケート用紙に記入している人		数	比率
1a	本人	647	71%
1b	家族が代筆している	193	21%
1c	家族以外の支援者が代筆している	2	0%
1S	その他	1	0%
10	未回答	68	7%
計		911	100%

質問2 年齢

年齢		数	比率
2a	18・19才	106	12%
2b	20才代	527	58%
2c	30才代	205	23%
2d	40才代	47	5%
2e	50才代	13	1%
2f	60才以上	8	1%
20	未回答	5	1%
計		911	100%

質問3 性別

性別		数	比率
3a	男	647	71%
3b	女	193	21%
3S	その他	3	0%
30	未回答	68	7%
計		911	100%

質問4 住んでいる都道府県

住んでいる都道府県	数	比率
1 北海道	43	5%
2 青森県	0	0%
3 岩手県	5	1%
4 秋田県	3	0%
5 宮城県	29	3%
6 山形県	1	0%
7 福島県	0	0%
8 茨城県	19	2%
9 栃木県	16	2%
10 群馬県	8	1%
11 千葉県	37	4%
12 埼玉県	25	3%
13 東京都	59	6%
14 神奈川県	72	8%
15 新潟県	72	8%
16 長野県	11	1%
17 山梨県	10	1%
18 静岡県	31	3%
19 愛知県	111	12%
20 岐阜県	25	3%
21 富山県	17	2%
22 石川県	12	1%
23 福井県	5	1%
24 三重県	3	0%
25 和歌山県	1	0%
26 奈良県	14	2%
27 滋賀県	14	2%
28 京都府	0	0%
29 大阪府	84	9%
30 兵庫県	60	7%
31 岡山県	2	0%
32 鳥取県	3	0%
33 広島県	25	3%
34 島根県	0	0%
35 山口県	0	0%
36 徳島県	6	1%
37 香川県	0	0%
38 愛媛県	2	0%
39 高知県	3	0%
40 福岡県	48	5%
41 佐賀県	0	0%
42 長崎県	19	2%
43 熊本県	4	0%
44 大分県	5	1%
45 宮崎県	3	0%
46 鹿児島県	0	0%
47 沖縄県	2	0%
48 日本以外	0	0%
S その他	2	0%
計	911	100%

質問5 現在、何をしていますか

現在、何をしていますか		数	比率
5a	働いている	491	54%
5b	学校(専門学校、短大、大学等)で勉強している	145	16%
5c	働くための訓練や就労移行支援事業所などを利用している	90	10%
5d	就労継続支援事業所、作業所などを利用している	85	9%
5e	求職活動中	18	2%
5f	無職	65	7%
5S	その他	14	2%
50	未回答	3	0%
計		911	100%

質問6 あなたが得意なことだと思うことすべて (複数回答)

あなたが得意なことだと思うこと		数	比率
6a	文章を読むこと	263	29%
6b	文章を書くこと	158	17%
6c	人と話すこと	190	21%
6d	説明すること	92	10%
6e	人の話を聞くこと	154	17%
6f	話す相手の言いたい内容が推測できること	79	9%
6g	計算すること	198	22%
6h	金銭管理	116	13%
6i	相手にわかりやすく話すこと	71	8%
6j	大勢で物事を進めていくこと	54	6%
6k	ひとりで物事に取り組むこと	372	41%
6l	新しい方法やアイデアを思いつくこと	177	19%
6m	細かい手作業	178	20%
6n	運動すること	164	18%
6o	手早く作業を進めること	108	12%
6p	最後まで作業を完成させること	238	26%
6q	リズム感が良いこと	142	16%
6r	その他	61	7%
6s	特になし	105	12%
60	未回答	6	1%
計		2926	321%

質問7 あなたが一番苦手なこと（本来は1個だけ選択するもの）

あなたが一番苦手なこと	数	比率
7a 字を読むこと	7	1%
7b 文書を読むこと	7	1%
7c 字を手書きすること	38	4%
7d 人と話すこと	102	11%
7e 文章を手書きすること	33	4%
7f 説明すること	67	7%
7g 計算すること	55	6%
7h 金銭管理	33	4%
7i 読み書きに時間がかかること	10	1%
7j 人の話を聞くこと	24	3%
7k 相手にわかりやすく話すこと	81	9%
7l 話す相手の言いたい内容を推測すること	69	8%
7m 落ち着いて物事に取り組むこと	16	2%
7n 細かい手作業	20	2%
7o 手早く作業を進めること	30	3%
7p 整理整頓	71	8%
7q 公共の場で静かにすること	7	1%
7r 道具や用具を使うこと	1	0%
7s その他	19	2%
7t 特になし	20	2%
70 未回答	9	1%
7W 複数回答	192	21%
7Wab 複数回答でaかbを含む	39	4%
7Wce 複数回答でcかeを含む	63	7%
7ab 全部の回答でaかbを含む	53	6%
7Nab 全部の回答でaとbを含まない	858	94%
7ce 全体の回答でcかeを含む	134	15%
7Nce 全体の回答でcとeを含まない	777	85%

複数回答の内訳

あなたが一番苦手なこと	数	比率
7a 字を読むこと	23	12%
7b 文書を読むこと	34	18%
7c 字を手書きすること	47	24%
7d 人と話すこと	80	42%
7e 文章を手書きすること	45	23%
7f 説明すること	98	51%
7g 計算すること	44	23%
7h 金銭管理	50	26%
7i 読み書きに時間がかかること	33	17%
7j 人の話を聞くこと	46	24%
7k 相手にわかりやすく話すこと	103	54%
7l 話す相手の言いたい内容を推測すること	82	43%
7m 落ち着いて物事に取り組むこと	45	23%
7n 細かい手作業	54	28%
7o 手早く作業を進めること	44	23%
7p 整理整頓	83	43%
7q 公共の場で静かにすること	12	6%
7r 道具や用具を使うこと	15	8%
7s その他	10	5%
7t 特になし	0	0%

質問8 書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること（複数回答）

書類を読んだり書いたりするときに、工夫していること		数	比率
8a	IT機器の読み上げソフトを使って確認している	17	2%
8b	パソコンやスマホで漢字を確認する	431	47%
8c	IT機器の音声入力ソフトを利用している	18	2%
8d	提出書類は鉛筆で下書きしている	240	26%
8e	紙の書類にパソコンで入力できるソフトを利用している	53	6%
8f	提出用紙は複数枚コピーして書き直しできるようにしている	136	15%
8g	読みやすいフォントに変換してから読んでいる	26	3%
8h	その他	61	7%
8i	特にない	303	33%
80	未回答	21	2%
計		1306	143%

質問9 街中の看板や交通機関の表示で、わかりにくいこと（複数回答）

街中の看板や交通機関の表示で、わかりにくいこと		数	比率
9a	バスや電車の行き先などが読みにくい	81	9%
9b	案内図などの字や説明がわかりにくい	178	20%
9c	バスや電車内の電光掲示などが読みにくい	45	5%
9d	背景や文字の色などが目にチカチカする	65	7%
9e	流れるテロップなどは読みにくい	99	11%
9f	アルファベットの表記などがわかりにくい	132	14%
9g	絵のサイン(表示)も意味がわからないものがある	120	13%
9h	その他	201	22%
90	未回答	315	35%
計		1236	136%

質問10 商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと（複数回答）

商品や製品の説明書・契約書などで、わかりにくいこと		数	比率
10a	字が小さい	152	17%
10b	文字ばかりで読みにくい	262	29%
10c	説明文がわかりにくい	382	42%
10d	図がわかりにくい	96	11%
10e	どこが重要かわかりにくい	416	46%
10f	行間が狭くて読みにくい	121	13%
10g	その他	114	13%
100	未回答	144	16%
計		1687	185%

質問11 あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの（複数回答）

あなた宛の書類で、わかりにくかったり、困ったりしたもの		数	比率
11a	健康保険や年金など役所からの書類	490	54%
11b	銀行や郵便局など金融機関からの書類	362	40%
11c	証券会社や保険会社などからの金融商品についての書類	315	35%
11d	契約についての書類	405	44%
11e	ダイレクトメールなどの勧誘郵便物	192	21%
11f	子どもの乳幼児健診の書類	10	1%
11g	子どもの保育園や幼稚園・小中学校からの書類	10	1%
11h	その他	129	14%
110	未回答	162	18%
計		2075	228%

質問12 仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと（複数回答）

仕事や職場のことで、わかりにくかったり、困ったりしたこと		数	比率
12a	職場に提出する年末調整の書類	352	39%
12b	報告書など職場で必要な書類	233	26%
12c	健康診断の問診票	118	13%
12d	忘れてはいけないことの覚書などのメモ作成	228	25%
12e	電話や伝言が正しくメモできない	252	28%
12f	免許や資格取得のための学習や受験	189	21%
12g	就職試験の学習や受験	138	15%
12h	履歴書の記入	265	29%
12i	その他	125	14%
120	未回答	144	16%
計		2044	224%

質問13 どうしたらわかりやすくなると思うか（複数回答）
（質問9～質問11でわかりにくい点があったと回答した人への質問）
母数:830

どうしたらわかりやすくなると思うか		数	比率
13a	質問に丁寧に答えてくれる人がほしい	405	49%
13b	調べやすいホームページがほしい	194	23%
13c	重要な箇所がわかるような書類にしてほしい	340	41%
13d	わかりやすい書類の記入例がほしい	403	49%
13e	文字を大きくしてほしい	105	13%
13f	記入する欄を大きくしてほしい	129	16%
13g	背景と文字の色の使い方を考えてほしい	63	8%
13h	相談に乗ってくれる人がほしい	370	45%
13i	QRコードやバーコードの利用を求めて欲しい	60	7%
13j	音や映像で伝えるアプリが欲しい	65	8%
13k	提出用紙をパソコンで入力できる書式でダウンロードできるようにしてほしい	110	13%
13l	手書きではなくパソコンなどの使用ができるようにしてほしい	160	19%
13m	タブレットでタッチして選択形式で記入できる申込書や申請書が欲しい	156	19%
13n	作成した書類の確認を気軽に頼めるところが欲しい	293	35%
13o	その他	62	7%
130	未回答	132	16%
計		3047	367%

質問14 医療機関の書類(問診票・入院案内書類・申込書・同意書など)
の読み書きについて（複数回答）

医療機関の書類の読み書きについて		数	比率
14a	読みにくい	101	11%
14b	読んでも意味がわかりにくい	387	42%
14c	書きにくい	153	17%
14d	口頭での説明はわかる	259	28%
14e	口頭での回答ができる	240	26%
14f	その他	114	13%
140	未回答	194	21%
計		1448	159%

質問15 市役所や区役所の書類の読み書きについて（複数回答）

市役所や区役所の書類の読み書きについて		数	比率
15a	読みにくい	141	15%
15b	読んでも意味がわかりにくい	449	49%
15c	書きにくい	176	19%
15d	口頭での説明はわかる	229	25%
15e	口頭での回答ができる	185	20%
15f	その他	119	13%
150	未回答	173	19%
計		1472	162%

質問16 選挙の時に困ったこと（複数回答）

選挙の時に困ったこと		数	比率
16a	読みにくい	98	11%
16b	読んでも意味がわかりにくい	193	21%
16c	書きにくい	51	6%
16d	口頭での説明はわかる	131	14%
16e	口頭での回答ができる	104	11%
16f	その他	205	23%
160	未回答	303	33%
計		1085	119%

IV 基礎統計表（単独集計） 発達障害者の親からの回答

回答数 1069

[1]① 続柄

続柄	数	比率
[1]①a 父	50	5%
[1]①b 母	1004	94%
[1]①c その他	9	1%
[1]①0 未回答	6	1%
計	1069	100%

[1]② 回答者の都道府県

回答者の都道府県	数	比率
1 北海道	64	6%
2 青森県	0	0%
3 岩手県	5	0%
4 秋田県	8	1%
5 宮城県	28	3%
6 山形県	1	0%
7 福島県	1	0%
8 茨城県	27	3%
9 栃木県	19	2%
10 群馬県	11	1%
11 千葉県	39	4%
12 埼玉県	29	3%
13 東京都	57	5%
14 神奈川県	79	7%
15 新潟県	89	8%
16 長野県	14	1%
17 山梨県	13	1%
18 静岡県	41	4%
19 愛知県	132	12%
20 岐阜県	31	3%
21 富山県	20	2%
22 石川県	18	2%
23 福井県	6	1%
24 三重県	4	0%
25 和歌山県	0	0%
26 奈良県	16	1%
27 滋賀県	15	1%
28 京都府	2	0%
29 大阪府	85	8%
30 兵庫県	75	7%
31 岡山県	2	0%
32 鳥取県	3	0%
33 広島県	30	3%
34 島根県	0	0%
35 山口県	0	0%
36 徳島県	8	1%
37 香川県	0	0%
38 愛媛県	2	0%
39 高知県	1	0%
40 福岡県	54	5%
41 佐賀県	1	0%
42 長崎県	23	2%
43 熊本県	6	1%
44 大分県	2	0%
45 宮崎県	5	0%
46 鹿児島県	0	0%
47 沖縄県	3	0%
48 日本以外	0	0%
S その他	0	0%
計	1069	100%

[2]① 子どもの年代

子どもの年代		数	比率
[2]①a	18・19 才	133	12%
[2]①b	20 才代	647	61%
[2]①c	30 才代	240	22%
[2]①d	40 才代	37	3%
[2]①e	50 才代	3	0%
[2]①W	複数回答	4	0%
[2]①0	未回答	5	0%
計		1069	100%

[2]② 現在の診断・判定・教育的判断（複数回答）

現在の診断・判定・教育的判断		数	比率
[2]②a	LD	196	18%
[2]②b	AD/HD	193	18%
[2]②c	ディスレクシア	28	3%
[2]②d	協調性運動障害	41	4%
[2]②e	自閉症スペクトラム	805	75%
[2]②f	チック・トゥレット症	25	2%
[2]②g	知的障害	259	24%
[2]②h	その他	31	3%
[2]②i	診断・判定・教育的判断なし	37	3%
[2]②0	未回答	2	0%
計		1617	151%

[2]③ 子どもが一番初めに診断された時期

子どもが一番初めに診断された時期		数	比率
[2]③a	3 才以下	126	12%
[2]③b	3 才から小学校就学前	299	28%
[2]③c	小学1 年～3 年	234	22%
[2]③d	小学4 年～6 年	129	12%
[2]③e	中学生	92	9%
[2]③f	高校生	46	4%
[2]③g	高校卒業後	91	9%
[2]③0	未回答	52	5%
計		1069	100%

[2]④ 読み書きについて療育や指導を受けたことがあるか

読み書きについて療育や指導を受けたことがあるか	数	比率
[2]④a ある	499	47%
[2]④k ない	554	52%
[2]④0 未回答	16	1%
計	1069	100%

[2]④' 読み書きについて療育や指導を受けた場所（複数回答）
（母数は[2]④で「ある」と答えた人数:499）

読み書きについて療育や指導を受けた場所	数	比率
[2]④b 学校	301	60%
[2]④c 児童発達支援センター	47	9%
[2]④d 療育センター	80	16%
[2]④e 医療機関併設の療育機関	83	17%
[2]④f 大学等研究機関	56	11%
[2]④g 児童発達支援事業所	14	3%
[2]④h 放課後等デイサービス事業所	16	3%
[2]④i 学習塾	89	18%
[2]④j その他	61	12%
計	747	150%

[2]⑤ ④'で【(b)学校】の場合、どこで読み書きの指導を受けたか（複数回答）
（母数は[2]④'で「学校」と答えた人数:301）

どこで読み書きの指導を受けたか	数	比率
[2]⑤a 通常の学級	78	26%
[2]⑤b 通級	127	42%
[2]⑤c 支援学級	129	43%
[2]⑤d 支援学校	24	8%
[2]⑤0 未回答	1	0%
計	359	119%

[2]⑥ 読み書きの困難さについて学校や職場の理解がなく、二次障害を起こしたことがあるか

二次障害を起こしたことがあるか	数	比率
[2]⑥a ある	311	29%
[2]⑥j ない	683	64%
[2]⑥0 未回答	75	7%
計	1069	100%

[2]⑥' 二次障害の内容（複数回答）
（母数は[2]⑥で「ある」と答えた人数:311）

二次障害の内容	数	比率
[2]⑥b 不登校	121	39%
[2]⑥c 精神的不安定	183	59%
[2]⑥d うつ状態	60	19%
[2]⑥e 暴力・暴言	90	29%
[2]⑥f 無気力	74	24%
[2]⑥g 引きこもり状態	45	14%
[2]⑥h 働く気がない	22	7%
[2]⑥i その他	39	13%
計	634	204%

[2]⑦ 障害者手帳、判定書を所持しているか

障害者手帳、判定書を所持しているか	数	比率
[2]⑦a 療育手帳(愛の手帳)	441	41%
[2]⑦b 身体障害者手帳	17	2%
[2]⑦c 精神障害者保健福祉手帳	388	36%
[2]⑦d 障害者職業センターの判定	25	2%
[2]⑦e 所持していない	271	25%
[2]⑦0 未回答	12	1%
計	1154	108%

[2]⑧ 子どもが20歳以上の場合、障害基礎年金の支給を受けているか
(母数は[2]①で20才代～50才代と答えた人数:936)

障害基礎年金の支給を受けているか	数	比率
[2]⑧a 支給を受けている	509	54%
[2]⑧b 支給を受けていたが、支給を停止された	4	0%
[2]⑧c 支給を申請したが、不可だった	33	4%
[2]⑧d 申請中	21	2%
[2]⑧e 申請していない	349	37%
[2]⑧W 複数回答	3	0%
[2]⑧0 未回答	17	2%
計	936	100%

[2]⑨ 子どもの現在の状況

子どもの現在の状況	数	比率
[2]⑨a 学校在学中	179	17%
[2]⑨b 一般就労(20時間/週以上勤務)	180	17%
[2]⑨c 障害者雇用(20時間/週以上勤務)	338	32%
[2]⑨d パート・アルバイト(20時間/週末満の勤務)	38	4%
[2]⑨e 就労移行支援事業所	66	6%
[2]⑨f A型就労継続支援事業所	30	3%
[2]⑨g B型就労継続支援事業所、授産所、作業所に通所	96	9%
[2]⑨h 職業訓練(訓練校・委託訓練・職場実習等)	14	1%
[2]⑨i 無職	99	9%
[2]⑨W 複数回答	18	2%
[2]⑨0 未回答	11	1%
計	1069	100%

[3]① 幼少期の困難さ（複数回答）

幼少期の困難さ	数	比率
[3]①a 言葉が遅かった	699	65%
[3]①b 指さしをするのが遅かった	305	29%
[3]①c あちこち走り回っていた	497	46%
[3]①d 遊び友達を叩いたり、嘔みついたりした	183	17%
[3]①e 食卓のコップ等を良く倒した	113	11%
[3]①f 友だちとごっこ遊びをしなかった	602	56%
[3]①g しりとりや言葉遊びが苦手だった	315	29%
[3]①h 絵本などに興味を示さなかった	168	16%
[3]①i 文字に興味を示さなかった	188	18%
[3]①j お絵描きに興味を示さなかった	272	25%
[3]①k 公園の遊具で遊ぶのが嫌いだった	126	12%
[3]①l 自分で服を着れるようになるのが遅かった	259	24%
[3]①m 自分の右・左がわかりにくかった	301	28%
[3]①n 約束やルールを守って遊べなかった	356	33%
[3]①o 集団行動が苦手だった	749	70%
[3]①p 偏食が強かった	317	30%
[3]①q こだわりが強かった	611	57%
[3]①r 急に大声を出したりした	156	15%
[3]①s 特に無かった	30	3%
[3]①o 未回答	14	1%
計	6261	586%

[3]② 学齢期の困難さ（複数回答）

学齢期の困難さ	数	比率
[3]②a ノートを取らない	331	31%
[3]②b 書字に時間がかかる	489	46%
[3]②c 板書を写さない	317	30%
[3]②d 書くことを嫌がる	287	27%
[3]②e 夏休みの日記が書けない	374	35%
[3]②f 作文が嫌い	586	55%
[3]②g 漢字学習を嫌がる	266	25%
[3]②h 宿題をしようとしていない	284	27%
[3]②i 読みに時間がかかる	236	22%
[3]②j 聞き間違いが多かった	239	22%
[3]②k 読み間違いが多かった	221	21%
[3]②l スムースな音読が難しい	295	28%
[3]②m 習った漢字が読めない	118	11%
[3]②n 文字が汚い	473	44%
[3]②o 周囲が気になって授業に集中できない	292	27%
[3]②p 落ち着きがない・多動・多弁	332	31%
[3]②q 勝手に声が出てしまう	127	12%
[3]②r 身体が勝手に動いてしまい授業に集中できない	118	11%
[3]②s 片付けができない	484	45%
[3]②t 字がマス目に収まらない	256	24%
[3]②u 筆圧が強すぎる	166	16%
[3]②v 筆圧が弱い	211	20%
[3]②w 体の動きがぎこちない	398	37%
[3]②x 姿勢を保持できない	273	26%
[3]②y 不器用	629	59%
[3]②z 算数の文章題が苦手	555	52%
[3]②A 距離感がつかみにくく人や物によくぶつかる	178	17%
[3]②B 持ち物をよく失くす	362	34%
[3]②D 筆箱など机の上に置いてある物をよく落とす	175	16%
[3]②E 動作が乱暴	129	12%
[3]②F 用具や道具をすぐに壊す	171	16%
[3]②G 特に無かった	24	2%
[3]②O 未回答	15	1%
計	9411	880%

[3]③ 文字や文書について、現在の生活での困難さ（複数回答）

文字や文書について、現在の生活での困難さ	数	比率
[3]③a 郵便物の内容の細かい把握ができない	394	37%
[3]③b 文字や文書の手書きが難しい	222	21%
[3]③c 本人だけでは手帳の更新など役所等への書類が作成できない	604	57%
[3]③d 電車やバスの行き先などが読めない	47	4%
[3]③e 街中の看板や案内掲示がわからない	51	5%
[3]③f 長い文書だと重要な箇所を見落としてしまう	459	43%
[3]③g 長い文書だと途中から読まなくなってしまう	267	25%
[3]③h 読書などが楽しめない	324	30%
[3]③i 書くことが苦手なので考えをまとめることも苦手	402	38%
[3]③j 契約書の内容などが理解できない	529	49%
[3]③k 設問などの文章の意図の把握が困難	482	45%
[3]③l その他	65	6%
[3]③O 未回答	155	14%
計	4001	374%

[3]④ 働くうえで、読み書きについての困難さ（複数回答）

働くうえで、読み書きについての困難さ		数	比率
[3]④a	読み書きが苦手なので、職種が限られる	266	25%
[3]④b	仕事に必要なメモがとれない	282	26%
[3]④c	文書の内容把握のためには説明が必要	503	47%
[3]④d	文書の読み書きに時間が掛かる	305	29%
[3]④e	報告書などの書類が書けない	441	41%
[3]④f	その他	102	10%
[3]④0	未回答	282	26%
計		2181	204%

[4]① 文書の内容の把握について、ご家族等がしているサポート（複数回答）

文書の内容の把握について、ご家族等がしているサポート		数	比率
[4]①a	文書の代読	133	12%
[4]①b	文書の代筆	177	17%
[4]①c	文書の内容の説明・確認	574	54%
[4]①d	提出期限など文書の管理	453	42%
[4]①e	IT 機器などの使い方の説明	109	10%
[4]①f	全くサポートしていない	289	27%
[4]①0	未回答	68	6%
計		1803	169%

[4]② 文章の読み書きの苦手さを補う手段として本人が身に付けている方法（複数回答）

本人が身に付けている方法		数	比率
[4]②a	パソコン・スマホなどの利用	491	46%
[4]②b	読み上げソフトの利用	6	1%
[4]②c	音声入力ソフトの利用	13	1%
[4]②d	紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用	18	2%
[4]②e	内容の説明や代読・代筆など周囲に支援を求める	275	26%
[4]②f	特にない	351	33%
[4]②g	その他	45	4%
[4]②0	未回答	77	7%
計		1276	119%

[4]③ 将来的に本人が利用できるようになって欲しいサポート（複数回答）

本人が利用できるようになって欲しいサポート		数	比率
[4]③a	パソコンでの文字入力	89	8%
[4]③b	読み上げソフトの利用	40	4%
[4]③c	音声入力ソフトの利用	55	5%
[4]③d	紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用	132	12%
[4]③e	安心して気軽に相談できる窓口	781	73%
[4]③f	内容の説明や代読・代筆などをしてくれる日常生活上の支援者	401	38%
[4]③g	支援機器やサービスの情報提供	254	24%
[4]③h	動画や音声で伝えられるソフトの導入	104	10%
[4]③i	特にない	106	10%
[4]③0	未回答	58	5%
計		2020	189%

[4]④ 家族のサポートが無くなった場合、心配なこと（複数回答）

家族のサポートが無くなった場合、心配なこと		数	比率
[4]④a	一人では契約(アパートやスマホなど)ができない	623	58%
[4]④b	一人では医療機関で問診票などが書けない	217	20%
[4]④c	家族が入院した時など医療機関や保険会社に提出する書類作成を任せられない	751	70%
[4]④d	手帳の更新など行政関係書類が一人では処理できない	624	58%
[4]④e	一人では金融機関の利用ができない	298	28%
[4]④f	商品や製品の使い方など説明書を読まないで、自分勝手に操作する	241	23%
[4]④g	本人が内容を理解していない契約による損失や多重債務を負う	661	62%
[4]④h	動画や音声で伝えられるソフトの導入	73	7%
[4]④i	特になし	97	9%
[4]④0	未回答	41	4%
計		3626	339%

[4]⑤ 本人が相談できる人(親や家族以外)または、機関

本人が相談できる人(親や家族以外)または、機関の有無		数	比率
[4]⑤a	ある	694	65%
[4]⑤h	ない	337	32%
[4]⑤W	複数回答	9	1%
[4]⑤0	未回答	29	3%
計		1069	100%

[4]⑤' 本人が相談できる人(親や家族以外)または、機関（複数回答）
 (母数は[4]⑤で「ある」と答えた人数:694)

本人が相談できる人(親や家族以外)または、機関		数	比率
[4]⑤b	友人	136	20%
[4]⑤c	職場の同僚	39	6%
[4]⑤d	職場の上司	139	20%
[4]⑤e	支援機関の職員	433	62%
[4]⑤f	学校の先生	79	11%
[4]⑤g	その他	140	20%
計		966	139%

【事業協力団体・協力者】

ご協力いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。

○アンケート協力団体

北海道高機能広汎性発達障害児者親の会（ドンマイの会）

宮城県自閉症協会

シエルの会

株式会社グッジョブ

認定特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネット

認定特定非営利活動法人エッジ

特定非営利活動法人えじそんくらぶ

特定非営利活動法人日本トウレット協会

特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

特定非営利活動法人愛知県自閉症協会 つぼみの会

一般社団法人大阪自閉スペクトラム症協会

さかいハッタツ友の会

特定非営利活動法人つみきの会

特定非営利活動法人発達障がい者就労支援ゆあしっふ

学校法人立花学園立花高等学校

ディーキャリア 福岡赤坂オフィス

特定非営利活動法人全国LD親の会加盟各会

（特定非営利活動法人北海道学習障害児・者親の会クローバー/小樽後志LD・発達障がい児者親の会「ぼてとの会」/室蘭LDを考える会「ダビンチの会」/旭川LD親の会「ぶりずむ」(学習障害児・者とその周辺の子を持つ親と子の会) /岩手発達障がい親の会・くぶくぶ/秋田LD・AD/HD親の会「アインシュタイン」/茨城LD等発達障害親の会「星の子」/ゆずりは(LD等発達障がい児者親の会) /群馬子どもサポート/だるまの会/埼玉親の会「麦」/千葉発達障害児・者親の会「コスモ」/LD発達障害児・者親の会「けやき」/「にんじん村」/学び方の違う子の親の会ルピナス/神奈川LD等発達障害児・者親の会「にじの会」/新潟いなほの会-発達障害児者親の会-/長野県LD等発達障害児者親の会「よつ葉の会」/山梨LD・発達障害児者の支援を考える会「いちえ会」/静岡県LD等発達障がい児・者親の会「きんもくせい」/富山県LD等発達障害及び周辺児者親の会「ゆうの会」/石川県発達障害児・者親の会「パル」/福井たんぼぼの会/岐阜県LD親の会「れんげの会」/あいちLD親の会かたつむり/三重県学習障害児・者親の会「ハナショウブの会」/滋賀LD親の会「トムソーヤ」/大阪LD親の会「おたふく会」/大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」/兵庫県LD親の会「たつの子」/奈良LD親の会「パンジー」/困り感を抱える子を支援する親の会/らっきょうの花/岡山県LD等発達障害親の会「はあとりんく」/広島発達障害親の会「明日葉」/あおぞら発達障害児(者)と親とサポーターの会/高知LD親の会 sky/福岡発達障がい者親の会「たけのこ」/北九州LD等発達障害親の会「すばる」/佐賀・筑後地区LD・ADHDおよびその周辺児・者親の会「夢気球」/長崎発達支援親の会「のこのこ」/大分県発達支援親の会「じゃんぷ」/くまもと発達支援親の会「めだか」/宮崎LD・発達障がい親の会「フレンド」/かごしま発達支援ネットワーク「tetoteto (てとてと)」

○支援者ヒアリング協力者

橘 直哉 (一般社団法人 広島学びのサポートセンター代表理事)

池田浩之 (兵庫教育大学大学院/特定非営利活動法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク)

立山清美 (大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科講師)

○親の座談会協力団体

LD発達障害児・者親の会「けやき」/「にんじん村」/東京LD親の会連絡会・自立生活研究会

おわりに

2018年10月に調査を始めて、かなり駆け足でデータをまとめました。

今まで、全国LD親の会の会員対象の調査を行ったことは何回かあったのですが、今回は、NPO法人全国LD親の会以外の発達障害関係の会や支援機関にも協力いただき、調査を行いました。調査を行う段階で色々な話が出てきて、頭の中では「色々な人がいる」と分かっていたつもりでも、「自分中心の考えに固まっていた」ことに気づかされたことは、個人的に大きな収穫でした。

アンケート結果をまとめていて最初に気づいたのは、「一番苦手なこと」という設問に複数回答した人が2割に上ったことです。アンケート集計では、設問どおりに回答を得られないことがよくあるのですが、「顕在化されにくい読み書き困難」の調査の手始めに「読み書き」を最も苦手とする人とそうで無い人に分けようとした意図が外されてしまい、どのようにまとめるかに難儀しました。もともと、設問どおりに回答が得られないということは、「設問を読んで内容を理解する」ことが苦手ということを意味するので、「かなりの数の人が『文章を読んで理解すること』を苦手とすること」は設問の意図とは違ってもしっかり数字に表れました。

また、いろいろITを利用した支援が話題になっている中、アンケートでは、昔からある方法や人的な方法の方が重要視されていました。ITを利用した支援があまり知れ渡っていないのかもしれないと思いました。

いただいた貴重な情報を、できるだけわかりやすく伝えたいと思ってまとめましたが、データが多いので、数字が小さくて見にくくなったところも出てきてしまいました。アンケートの回答の単独集計表を資料として付けましたので、調査委員とは別の見方で検討いただければ幸いです。

最後になりましたが、プライバシーにも関わる答えにくい質問に回答してくださった皆様、お忙しい中インタビューに応じていただいた皆様に感謝いたします。

2019年3月

特定非営利活動法人全国LD親の会
理事 東條 裕志

厚生労働省 平成 30 年度障害者総合福祉推進事業

発達障害者の顕在化されにくい「読み書き困難」についての実態調査

作成日 平成 31 年 3 月

調査・報告 特定非営利活動法人 全国 LD 親の会

〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 415

TEL/FAX: 03-6276-8985

URL : <http://www.jpald.net/>

E-MAIL : jimukyoku@jpald.net